

令和4年度広島の拠点性強化に向けた懇話会ワーキンググループ会議 開催記録

1 開催日時

令和4年10月12日（水）14:00～16:00

2 開催場所

広島市役所 本庁舎14階 第7会議室

3 出席委員（50音順、敬称略）

青山恵子	広島大学理事補佐（安倍学理事・副学長の代理出席）
植野実智成	広島商工会議所専務理事
梅津貴	中国経済連合会常務理事
大芝亮	広島市立大学広島平和研究所所長
荒神原政司	広島市企画総務局長
古村一朗	広島経済同友会常任幹事
斉藤卓也	(株)日本政策金融公庫広島支店支店長
武市浩二	連合広島広島地域協議会事務局長
中野博之	広島県経営者協会専務理事
広中正紀	(株)もみじ銀行営業統括部長
福田由美子	広島工業大学教授
松内紀子	(株)広島銀行公務営業部長
松尾康史	(株)日本政策投資銀行中国支店支店長
山田知子	比治山大学教授

4 議事内容

- ・ 第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略の取組状況
- ・ 第2期広島広域都市圏発展ビジョンの取組状況
- ・ 広島の拠点性強化に向けて（公共交通ネットワークの利活用による地域活性化の取組について都心の大改造と平和文化の振興）

5 主な意見等

- ・ 公共交通のあるべき姿は、全国一律ではなく、地域によって異なるので、地域ごとの状況やニーズをしっかりと把握することが重要である。
- ・ 公共交通は地域の日常生活を支える必要不可欠なインフラであるという考え方が、地域住民に共有され、自分事として捉えてもらうようにすることが重要である。
- ・ 公共交通を利用してもらうためには、外出や移動の機会を創出し、人がどんどん動く社会をつくる必要がある。
- ・ サイクルトレインなど、電車と自転車の組み合わせも、電車の利活用促進に有効である。